京城日報　朝刊

手訪蒙特使歸滿

【新京十四日同盟】蒙古聯合自治政府の答禮特派使節滿洲國政府治安部大臣一行は九日張家口において徳王主席との答禮會見を〇日間にわたる公式日程を滞りなく終つたので、十二日張家口發途中北京一泊の上十四日午前十一時五十分新京着列車で歸京

卌キロの横型陣形で 廣信前衛攻勢の火蓋

精鋭、三方から壓迫

【浙贛前線〇〇特電十三日發】玉山を拔き敗敵を蹴散らしつゝ敵據點廣信（上饒）目指し破竹の西進を續ける我精鋭諸部隊は浙贛線を中心に南北卌キロの横型陣を張つて着々攻略態勢を整へつゝあつたが、十三日午後廣信（上饒）防衛の主力前衛陣地に對し一大攻撃の火蓋を切つた、即ち玉山攻略後武安山南方を進撃中の我〇〇部隊は十三日夕刻には〇〇山の敵據點を奪取、鐵江沿ひに最右翼部隊となつて西進中の〇〇部隊は十三日午後玉山攻略の主力部隊と會し隨所に敗敵を殲滅しつゝ敵を壓迫、又左翼部隊は浙贛線南方〇〇キロに亘つて全面的に省境を突破しては江西省内に進入、既に八都鎭を攻略し街道沿ひに江西省東南部の要衝〇〇に肉薄しつゝあるので三路よりする我猛攻撃に敵前衛陣地は隨所に蹂躙され、早くも全面的崩壊の兆を見せるに至つた

【浙贛前線十四日同盟】十三日拂曉江西省境の八都鎭を拔き破竹の勢ひで南下したわが左側部隊は十四日朝敵兵站基地廣豐に肉薄、忽ちこれを占領し、鉾を轉じて西方へ進撃その先鋒は同日正午廣豐西方四キロ三十二都を攻略、敵第三戰區總司令部の所在地廣信の東方わづか十八キロに進出し、今や一擧にこれを屠らんとする態勢にある

廣信市街、周邊に巨彈の雨

【中支〇〇基地十三日同盟】わが陸軍航空部隊の主力は十三日早朝再び廣信を襲撃、市内諸施設に必中彈を浴びせるとともに敗敵を滿載せるトラック群および貨車に對し猛爆を加へこれを粉碎した、さらに同日午後引續き同市同邊の軍事施設および敗走する敵集團を爆撃多大の戰果を收めた

十五分間で忽ち九機

桂林上空、壯烈な撃滅

【〇〇基地十四日同盟】南支方面の敵航空基地撃滅作戰を續行中のわが陸鷲は十二日一部をもつて桂林を空襲、敵カーテスP四〇型十一機と遭遇うち九機を撃墜したが、その戰鬪状況は次の如くであつた

この日わが爆撃編隊は早朝勇躍飛翔を運ねて進發桂林飛行場上空に進攻、狼狽して射出す敵地上砲火を冒して附屬諸施設に巨彈の雨を浴びせてこれを徹底的に爆碎した、この時突如上空の雲間より敵カーテスP四〇型敵機がわれに襲ひかかつた、一方爆撃機隊に同行上空を巡回中のわが精鋭戰鬪機編隊は爆撃完了とみてまさに地上掃射に移らんとした際これまた雲中より出現した敵同型機を發見、ここに敵空軍最後の虎の子部隊と待ち來る義勇空軍主力十一機とわが戰鬪機編隊との間に大空中戰が展開された、わが戰鬪機編隊長は直ちに戰鬪隊形を命じ高位より襲ひかかつて來る敵に機を逸せず猛射を浴びせ第一撃において忽ち、敵二機を撃墜した、さらに息もつかず二撃三撃と反復猛攻、壯絶極まる激戰のうちつひに撃墜確實六機、不確實三機の戰果を擧げた、この間約十五分激戰に激戰する重慶最後の恃みたる米義勇空軍主力を撃滅し去りわが精鋭は遙か西の山野に凱歌も高く堂々〇〇基地に歸還した、この空中戰においてわが方二機壯絶なる自爆を遂げた、この兩機は被彈後もなほ敵機に食ひ下つて射撃を續行友軍に着陸られて歸途に着かんとしたが、つひに絶望とみて僚機に手を振つて訣別の挨拶を送り、大陸の山深く從容として護國の華と散つたものである

蔣の虎の子潰ゆ

【南京十三日同盟】蔣介石が第一線戰區と折紙をつけた第三戰區の慘敗に極度に狼狽した重慶は秘かに累地從空軍の蠢動を企圖してゐたが、わが戰爆聯合の陸軍航空部隊は十二日早朝機先を制し長驅桂林飛行場を攻擊、挑戰し來つたアメリカ義勇飛行隊十一機と壯烈な空中戰を演じうち九機を撃墜し敵最後の空軍蠢動の企圖を粉碎、わが今次作戰により東部支那空軍基地の總てを失ひ今また蔣介石虎の子の空軍の大部分を撃滅された重慶側の打撃は蓋し深刻なものがあらう

最良の盟邦日獨伊

在獨ボース氏聲明書

【ベルリン十三日同盟】獨滯在中の印度獨立運動の志士チャンドラ・ボース氏は十二日内外記者團に對し大要次の如き聲明書を發表した

アジヤおよび歐米の情勢を觀察した結果余は英國はこの戰爭で負けるに違ひない、しかして英帝國の沒落は不可避であるばかりか間近に迫つてゐるといふ不動の結論に到達した、余は三國同盟國に關して行はれてゐるあらゆる英國の誹謗宣傳を承知してゐるが、余自らの體驗によつて三國同盟國は歴史の必然により當然われわれ印度人の盟邦となることを今や確信するに至つた、ヒトラー、ムツソリーニ兩巨頭との會談内容については今他言することは出來ないが、ただ余が率直に言ひ得ることは日獨伊三國は反英帝國主義鬪爭において印度が外國にもつ最良の盟邦だといふことである、印度は英政府に反對し、その搾取の鐵鎖の一日も早く斷ち切られることを待つてゐる、ただ少數のものが英帝國主義を支持し、その戰爭遂行を援けてゐるといふのが現状である、今や英帝國の崩壞しない限り印度に自由が與へられないことは萬人の認めるところである、この際印度は正しい指導と必要な援助を仰ぐことが出來れば英國の支配を脱し自らを解放することは決して不可能でないと確信する

英の印度支配絡爲めし

ボース氏披瀝

【ベルリン十三日同盟】印度民族運動の巨星チャンドラ・ボース氏は十二日内外記者團と會見し、日獨伊と提携してあくまで反英抗爭に邁進する旨に聲明書を發表したのち記者の質問に對し一問一答をかされた、その主なるものの次の通り

問　印度獨立の機運が昂揚してゐる現在貴下の立場から見て日本がどのやうな行動を取ることを必要と考へられるか

答　それは先づ何をおいても印度の獨立を援助し印度人の印度の實現を促さんとする日本の眞意を十分に印度民衆に知らせることである、これはラジオその他の機關を通じて行ふことが出來る、印度民衆に日本の眞意が徹底せず印度側の獨立運動指導者との間に十分の連絡なくしては印度民衆から十分の支持を受け得ないおそれがあらう

問　印度の獨立は如何なる方法で何時實現出來ると思はれるか

答　今次戰爭中には勿論實現し得ると確信してゐるしその時期は相當切迫してゐると考へてゐる、この戰爭が最後的解決を得るまでには多少の時間がかかるかも知れないが、英國の勢力が全面的に後退し事實上印度を支配出來ない状態になるのは間もないことと信ずる、どんな方法で實現するかは豫言し得ないが樞軸國との緊密な協力を必要とすることは勿論である

問　獨立後の政治組織はどうなるか

答　自分達の使命は先づ印度を英國の桎梏から解放することにある、その後どんな指導者を立て如何なる政治形態をとるかは一に民衆の總意にまつほかはない

問　獨立運動の統一をはかり得ると考へるか

答　宗教的對立は英國の意識的煽動政策で實際には問題にならない、ガンヂーとネールとは印度の獨立といふ點で完全に協調出來る、自分は印度民衆が完全に一體となるものと確信してゐる

小磯總督、けふ出發

一路、晴の赴任の途へ

【東京電話】新任朝鮮總督小磯大將は大野秘書官、宮本法務局長を帶同、十五日午前九時東京驛發の『つばめ』で赴任の途につく

外交官交換船

リスボン入港

【リスボン十三日同盟】外交官交換船ドロットニングホルム號は十二日樞軸外交官一般市民合計九百八十五名を乘せアメリカからリスボンに入港した、一方ドイツからの引揚げ米洲諸國外交官市民を乘せた三時別列車も十二日リスボンに到着し、全部が揃ふものは六月十六日以後なので同船のアメリカ向け出航は十八日になる模樣である

英潜艦喪失を自認

【リスボン十三日同盟】ロンドン來電によれば英海軍省は潜水艦オリンパス號（一、四七五トン）を喪失せる旨十二日發表した、但し場所時期については何ら明示されてゐない

大西洋全域

獨、交戰水域宣言

【ベルリン十三日同盟】米參戰の結果大西洋方面の戰爭は歐洲沿岸から米國沿岸に至る大西洋全海面に及ぶこととなつたので、獨政府は十三日夜交戰水域を從來の北、白海、英本土周邊から更にグリーンランド、カナダ、米沿岸に擴大し本月廿六日以下同區域内を航行する船舶は無警告撃沈する旨宣言

米機トルコ領に不時着

【ビシー十二日同盟】アナトリア通信アンカラ電＝アメリカ飛行機ダグラス四發型四台は十二日トルコ領内に不時着した、うち三機は無事であつたが一機は破損してゐた、乘員は全部で廿五名で彼等は某任務を帶び黒海に派遣されたものだといつてゐるが、トルコ軍事筋ではこれらアメリカ機はセバストポリの防衛に參加してゐたものと見てゐる

墨、正式參戰

【リスボン十三日同盟】ロイター通信ワシントン電によればアメリカ大統領秘書アーリーはメキシコが十四日午後正式に聯合國に參加する旨十三日發表した

敵遺屍三千餘

高樹勳麾下覆滅す

【歸德十四日同盟】さる四月下旬わが大作戰によりその蠢動地區たる河南、河北、山東省境より驅逐四散せしめられた高樹勳麾下の敗敵はその後わが鐵壁の包圍陣内を彷徨、最近曹縣（河南山東省境）地區に辛くも餘喘を保ちつゝあつたが、早くもこれを察知したわが〇〇部隊の精鋭はさる六月一日より巧みな行動を起しこれを完全に包圍、鐵桶のうちに捕捉し既設陣地に據る敵に猛攻を敢行、敵はわが軍のこの不意打に極度に狼狽為すところを知らず血路を求めて南方へ遁走せんとするをさらに河南、江蘇省境に邀撃これを殲滅した、かくて高樹勳部隊は一大打撃をうけその蠢動企圖は完全に覆滅された、右殲滅戰の綜合戰果左の通り

敵遺棄死體三、〇〇七、捕虜一〇五、鹵獲品輕機一三、重機二、迫擊砲二、その他各種器材多數

東亞建設の試驗臺

バーモ博士重責を語る

【ラングーン十三日同盟】ビルマ中央行政機關設立委員會委員長バーモ博士は用務打合せのため十二日夫人同伴〇〇から當地に入り自邸に一泊したが、十三日左の如く語つた

ラングーン歸還に際しての感想といつても別にないが、今度マンダレー街道を南下しながら二年前のビルマと確かに違ふと感じたことはビルマ民衆が今後に非常に希望を抱き始めたことだ、去る四日の飯田最高指揮官の軍政施行およびに中央行政機關設立に關する聲明をわれ〳〵ビルマ人は衷心から歡迎してゐるが、獨立には自ら時期があり、飯田最高指揮官の挨拶にもあつたやうにビルマは大東亞戰爭作戰地域の一部をなしてゐるので一切の政策はまづ勝つことを前提要件とする、また現在はビルマの決定的な行政方針や機構といふ大伽藍に入るための門を開いたに過ぎず今後ますます日本の關係當局と互に腹藏のない意見を交換して行きたいと思ふ、そしてこゝ二、三ケ月中に委員會の目鼻をつけたい、ビルマの政治が一國一黨で行くかどうか今は、なんともいへないが恐らく行政上の具體的對策に關しては種々意見も出て來るものと思ふ、われ〳〵は今まで西方から來た潮流に不自然に從つて來たが、これからは東からの潮流に乘つて行かねばならぬ結局私の將來の抱負は日本の軍事行動を輔けるとともにビルマの獨立に力を致すことである、今後の日緬關係は印度濠洲はもとより全世界の注視の的になつてをりビルマは大東亞新秩序建設上重要なる試驗臺であるからわれ〳〵の責任は極めて重大である

モンカーク占領

泰國軍破竹の猛進撃

【バンコック十三日同盟】泰國軍はビルマ國境突破以來シャンステートの要地を相ついで攻略破竹の勢ひをもつて進軍を續けてゐるがさらに要衝モンカークを占領十三日左の如く發表した

▲泰國軍司令部發表　泰國軍隊はモンカークを六月十日占領せり、この町はケンタンの北五キロの地點にあるシャンステートの要地なり

各所に殲滅戰

山西の共匪掃蕩

【太原十三日同盟】さきの冬季肅清作戰により軍事施設を悉く覆滅された山西々北の共産軍はその後皇軍の眼を掠めて再建に狂奔しつゝあつたが、わが諸衛隊部隊は再度これが徹底的覆滅を期して、七日夕刻一齊に行動を開始

井戸部隊は八日夜半文水西北方四十八キロの馬蘭坪附近で敵決死第二縱隊の約六百を粉碎、次で文水西北約二十キロ附近で第百二十師特務團約二百を擊破、村川部隊は九日拂曉壽鎭山（嵐縣南方四十八キロ）周邊で東方に向つて敗走中の三百五十八旅の五百を捕捉、これに必中彈を集中して完膚なき中までに叩きつけ、また佐々木部隊は中庄（文水西北

獨軍、猛攻撃を展開

ハリコフ東南方地區

ストツクホルム特電【十三日發】モスコー來電、ハリコフ地區における第二次のドイツ攻撃戰と併行してその東南方百數十キロのイヂューム地區においてもドイツ軍はハリコフ以上の猛攻撃を展開中である

赤軍の危機を自認

セバストポリ攻防酣

【リスボン十三日同盟】當地に達した情報によれば獨軍の東部戰線における攻擊の中心は目下南部ハリコフおよびセバストポリ地區に向けられつゝあるもの如く獨軍は急降下爆撃機の掩護による地上部隊の猛攻により赤軍を苦境に陷らしめてゐる模樣である、ことにさる七日獨攻撃の火蓋を切つたセバストポリ要塞攻擊はこゝ數日の戰鬪で最高潮に達し息もつかせぬ急降下爆撃と戰車歩兵部隊の強襲とによりじり押しに赤軍陣地を後退せしめてゐるもの如くソ聯側も獨軍側の優勢を認め獨軍が此方面に新たに增援せしめた兵力は十五萬と推算してゐる、また北部レニングラード東方ボルコフ河地區の獨軍の攻擊も數日來激化しつゝある模樣で、獨軍はこの方面の戰鬪には戰車および砲兵の大部隊を動員して赤軍に壓迫を加へ猛攻を強行してゐるといはれる

【ベルリン十三日同盟】獨軍司令部發表

東部戰線　一、セバストポリ地區の赤軍要塞に對し獨軍は果敢な突擊を敢行、多大なる戰果を收めた

一、六月七日から十一日に至る間にこの戰線で赤軍の蒙つた損失は捕虜三千六百、トーチカ六百四十五は獨軍の手中に歸した

一、ハリコフの東方地區において も獨軍は攻擊に成功、ドネツ河西岸の赤軍の渡河地點を猛攻、東岸の赤軍部隊を包圍した

一、獨伊航空部隊は十二日空中戰で敵機十三機を擊墜した

一、北部地區の戰鬪でも獨軍は戰線を進めボルコフ地區では敵に多大な損失を與へこれを擊退、戰鬪機編隊をもつてボルガ河上流の重要軍需工場を爆碎、ムルマンスク鐵道の鐵道施設に爆擊を加へた

北部戰線　一、獨軍戰車隊はビル・ハケイム占領後北方に進出、エル・アデム西方で敵殘存戰車隊と交戰多大の戰果をあげた

艦船廿八隻撃沈

獨潜艦、米商船團襲撃

【ベルリン十三日同盟】獨軍司令部特別發表　一、大西洋方面に出動中の獨潛水艦は過去數日間敵軍に護衛された商船團および米海軍の哨戒する通商路を襲擊、敵艦船と激戰を交へた結果、驅逐艦一隻のほか商船二十七隻、合計十四萬九千二百トンを擊沈した

一、過去六日間において獨潛水艦は米國大西洋沿岸水域ならびにパナマ運河沖合カリブ海水域、地中海などで驅逐艦一隻および商船四十隻合計二十一萬二千二百トンを擊沈した

北阿に新局面

獨伊軍のビル ハケイム占領

【ベルリン十三日同盟】トブルク防衛の最大據點であるビル・ハケイムは十一日獨伊軍の占據するところとなつたが、十三日デーエヌベー通信は同地占領の戰略的意義を次の如く強調してゐる

ビル・ハケイムが豫想以上に堅固な陣地をもち強力に防備されてゐたことが今回の占領により明かになつた、英近東軍司令官オヒンレツク將軍がこの陣地を死守しようとしたのは單に局地的作戰を意味するのみでなく、ビル・ハケイムがロメル軍の進入を阻止する要點でもあつたからだ、從つてビル・ハケイムの占領は樞軸軍にとつて同地に於ける戰鬪が成功に終了したといふ事實以上に輝かしいものといへよう、かくて同地北方からトブルクへわたり集結中の英軍部隊は側面に大穴を明けられた譯であり、ロメル將軍は今後この英側の弱點を衝きビル・ハケイム占領によつて獨側に有利となつた。また今回の戰鬪で英代將ウイリアム・ステーフエン以下四將軍をはじめ將兵一萬二千名以上を捕虜とし、戰車六百、自動車數百台を鹵獲乃至破壞したが、これらのものは北阿戰が新局面に入つたことを示すものである

トブルク攻防酣

猛然、戰車戰を展開

【リスボン十三日同盟】エービー通信カイロ電によれば目下東部リビヤの運命を決定すべき決定的戰鬪が開始されつゝあり、英獨双方多數の戰車裝甲軍を繰出し、戰はまさに酣である、南方沙漠戰線ビル・ハケイムから撤退につぐ撤退をもつてドゴール軍を追ひ拂ひ後顧の憂ひを除いたロメル元帥は北方および東方戰線に戰車、急降下爆擊機を集中、その鋭鋒をさらに鋭くしてゐる、十一日には終日トブルク東南四十八キロの地點で激戰がつゞけられた

熊本市長に平野氏

【熊本電話】市會は十四日午後開會投票の結果市會議長平野龍起氏を市長に決定

日曜氣配

【大阪電話】今週も前半は清算現物を通じて全般的に頗る好調を持續し特に財閥株の如きは近來になく異常の...

...時的ではあつたが、軟化模樣となり、主力東新相場も實方待望の四十円大臺乘せを示現したが、金曜日から東西兩市場とも週末にかけて財閥株を先頭に全面的利喰反落歩調に轉じいよ〳〵白熱化しさうに思はれた、投機的思惑な餘程增大したやうに思はれた、最も週末のところでは單なる利喰反落の程度にて決してこのまゝさらに逆轉惡化してしまふとは考へられないまだ實玉整理が殘つてゐるのは確でありてもやがて日ならずして落着くだらうが、しかし頃日來のやうに餘り人氣的に煽揚された場合とに必らず斯樣な反落に見舞はれることを示唆したもので、輕薄な投機思惑に反省を求められるやうに感じられた

東新百三十六円三十錢▲大新七十四円六十錢▲鐘紡百五十円五十錢▲鐘新九十八円三十錢▲滿業五十七円丁度

＝人＝

◇李恒九男（李王職長官）東上中十五日午後『のぞみ』で歸任

轉換期の朝鮮產業を截る

本社經濟部記者　岡林直枝記

米英の政治經濟、大東亞の共榮圏建設、これら二つの世界の機構と性格を基本から改訂することを目標とする大東亞戰爭が開始されてすでに半歳を經過した、わが戰時經濟體制の重要な環を成すところの朝鮮產業は、當然深刻なるこの影響下に立たざるを得なかつた、現在のこの一大轉換を齎げた外的條件の物的な直接的な影響は臨戰體制、開戰體制と呼ばれた時期から開始されてゐたもので一ケ年以上を過して來た、その間に經濟再編成の要請は可賀を極め内地にあつては着々と實行されてゐたのであつたが、未だ若くして建設途上にあつた朝鮮の諸產業は内部條件の未成熟を理由として、部分的な實行を除けば殆どなすところなく今日に至つたのであつた、然し倒倍なき經濟環境の一ケ年以上に及ぶ累積は、さしも彈力性ある重要諸產業に現狀の維持を既成の手段で續け得ることには限界があることを知らしめ、十二月八日の歷史的轉換は最早條件の緩和も安協も許さないこととなつた、かくて潜在した弱點は一せいに露呈され始めたのである、今や官民もともに一大轉換が朝鮮產業にとつて避け難いことであり、又再編成をしなければならないとであるといふことを切實な意識を通じて承認しつゝあるのである、かゝる一大產業編成の轉換段階に當つてわが社はかゝる情勢を客觀的に具體的に知らしむる目的をもつて、或ひは產業別に地域別に現下產業の現況を視察し報告せしめるべく特派員を派することとした、この成果として當然なわれ〱の見解と認識を持つに至るのであるが、ここには一應の順序としてただ單なる素材的な報告のみに止めることとしたかゝる意圖の下に約一週間に亘る岡林特派員の三陟地方觀察報告を第一回としておくる

【その一】

時局的特異性を最も鋭く表明してゐるもののうち三陟は代表的な型の一つである、今や轉換期の頂點近きにありといはれる鮮内產業の大きい部分としての意味と輸送ルートが殆ど隔絶同樣の狀態に立つた三陟地方事情との二つが、ここに重なり合つて獨特の現象を生成させてゐるからである、大東亞戰爭勃發以來生產過剰の激しきりなる無數疑問題の角度において三陟を觀ることは、別の機會にこれを譲ることとしてこゝでは孤島三陟の姿をその主題とする

三陟炭田踏査記

日本海を壓する如く迫つて縱走する半島の背梁山脈太白の連峰が小白を分岐する邊、海拔一千五百米前後の峻嶺が

重疊として 屏立し襄地北鮮とともに、不毛江原道の中においても忘れられた未開の地區があつた、獨り火田民の群が豊な林相の間を縫つて生活する舞台に供されてゐるにすぎなかつた、然しこの一帶には各種各樣の多彩な地下資源と彪大な無煙炭が包藏されてゐることは可成り古くから知られてゐた、これは四、五十年前の〃計〃に基づいた外國の經濟調査にもしばしば散見されてはゐることからも推察される、餘りに自然の困難と未開の奥地にあつて、交通運輸を主としてあらゆる近代施設から隔離せられてゐたゝめにかくも長い間放置せられ來たつたのである、これが開發の曙光は昭和七年ごろよりさしそめて半島產業政策の重要な課題として取り上げられるに至つたがこれには巨大な資金と相當の期間を要するので、多大の困難が伴ひ具體化されるまでには紆餘曲折を經なければならなかつた、かくて最も大膽な形である綜合經營、一部は山元火力發電を起し

各種鑛物と 結ぶ化學工業その他の石炭消費工業を增強する一方、同鑛東海南北部鑛工業の動力道と相結び自らも近代交通を整備し附近諸產業の開發を行ひ餘力をもつて内地發電所用炭を供給するといつた彪大な計畫によつてこれが日窒系資本の手により着手されることとなつたのである

昭和十年七月埋藏量七千六百萬噸の無煙炭田を開發、發電する朝鮮電力が創立、第一期工事が完成して送電を開始したのが、十二年十月一日、また本開發計畫の主軸をなした埋藏量豊富にして炭質優秀を誇つた三陟炭田の開發は十一年四月三陟開發、三陟鐵道が同時に創立、着工したのであつた、更に朝鮮小野田セメント、三陟工場設立許可成り、十二年四月三陟郊外汀羅港口に

工事を開始 し、小野田工場と相對し港口に臨む地には協同油脂が十二年六月創立、十三年一月その根幹たる三陟工場が着工された、十年四月創立の朝鮮無煙炭鑛の三陟への觸手りが十二年十月實現しこゝに三陟地方開發は臨日の中に出發した、三陟炭田は十二年夏興田、道溪區の抗道堀進を開始、十三年夏出炭を開始し、三陟鐵道は十一年九月着工四十二キロ墨湖道溪間の運輸施設を十四年三月竣成せしめた

墨湖港築港工事また十二年以降四ケ年計畫をもつて着手、第一棧橋を十四年六月第二棧橋を一まづ十一月に架設し年間〇〇萬トンの能力を設備した、かくして十五年下期出炭能力は年〇〇〇萬トンの一期計畫達成に向つて一せいの進軍が行はれ、陸上の鬼が島三陟を内部から打ち破つて近代化することの成功は近いと思はれたのであつた

その間にあつて十三年末に勃發した朝鮮電力内部における資本の爭鬪によつて、十四年三月正式に日窒系は朝鮮電力から資本、技術の總退譲をなしこゝに

三陟開發は 發電事業から訣別するに至つた（本問題は朝鮮產業政策の方面として重大な出來事であつたがこゝでは之以上觸れない）こゝで日窒系の三陟開發集中主義が行はれ三陟炭田の重心點長省開發が大規模に展開され始めた、支那事變下こゝに六ケ年、諸種の困難な戰時經濟の中に大量出炭を開始しつゝあつたとき、大東亞戰の特殊條件下に立つに至つたのである

海運力を奪はれ開鑛工事は路盤工事のみの打切り狀態となるに至りやうやく内部交通が一應成つた、事業の一段階も生命の外界との輸送路が絶望の如き情狀を迎へてここに再び三陟地區は孤立化した

日窒系、炭鑛、鐵道、港灣（專用）協同油脂、小野田セメントと三系統併せて約一億の固定資本が封鎖されるに至り〃孤島三陟〃の實態は各方面の注目を受けることとなつた、しかも炭鑛は

增產諸設備 の整備に努力し、小野田工場は六月末に操業開始せんとし、協同油脂またソーダ工場の新設に專念してゐるのである

これらを現地に視、聞くことはいささか壯烈といふか凄然なきを得ない、〃孤島三陟〃は何處へ行くかに答へて自ら行くべき打開の途に血みどろの死鬪をなしつつあるところの、それはすさまじき無言劇であつた、然も徹せられつつあるところの鬪ひは誠りに感すべき案外な美しさと壯觀な風出を描へた天地においてであつた、それは現下の半島產業が直面せる現象の最も〃縮圖〃にほかならない

江原道　墨湖港　北坪　北三化學工業所　三和寺　協同油脂工場　小野田セメント工場　三陟　桃京里　天恩寺　未老　上鼎　頭陀山　新基　馬次里　德項山　下古土里　古土里　店里　興田　道溪　羅漢亭　大德山　桶里　咸白山　鐵岩

悩み深し〃輸送難〃 —全鮮一の巨大施設も爲に眠る—

○○坑入口に立つ記者

新に開通された京慶線榮川驛から群峰と鑛山地帶を縫つて走る約六十キロの自動車路か、太白が日本海岸近く聳立した峽谷を綴る約六十キロの鐵道ケーブルによるか、同一コースを辛じて惡自動車路によるのか、いづれかでなければ一般的な通俗的な世界には出られない三陟の重心、上長區は日本海斜面と洛東江域との分水嶺、太白の背梁峻線の頂上にどつかと坐り込んでゐるのである、黔川一、二區長省一、二區山をへだてて鐵岩區これらを併せたものが上長區である、分水嶺をはさんで約十六キロ下つて興田、道溪坑があるが、これは開發大綱からいへば從屬的地位に立ち目下のところも補助的な操業方針が採られてゐる、これら總督府の保留炭田卅三鑛區三千五十萬坪が、三陟開發所有鑛區である、附近には朝鮮電力、新朝無、昭和鑛業個人所有等の未稼業鑛區も隣り合つて存在してゐるが、いづれも三陟社を除けば保留分として

所有權が 設定されてゐるにすぎない、記者はここへ入るのに京慶線の榮川から自動車で長省へ行つた、ひどいコースであつたが、結果からいつて襄陽からの自動車コースより安全で確實性がある樣に思はれる、それ程三陟に達する交通は近時の諸施設で人間一人の往來にさへ阻害的であつた、長省、墨湖間は鐵道、鑛山用軌道等でつながつてゐて極めて恵まれてゐる、他の言葉でいへば孤立三陟も封鎖圏内においてはまづ交通線が形成せられてゐるといふことなのである、これに對する海上は墨湖港、汀羅港が相當大型航洋船の入港を可能とし、特に墨湖港の能力は民需荷役力のみにおいても殆ど鎭南浦に近い積込容量を設備してゐるのである、たゞ三陟への陸路は東海線北坪三陟間十二キロがあれば足りるのであるが、未だレール敷が不可能なためにトラツクか墨湖汀羅の海上輸送に全てを委ねてゐる、しかも海上は大型船少く輸送コストの高い

機帆船の 活躍に待つてゐるため、近距離輸送においても甚だ高い負擔をもたらせてゐる、かゝる環境においても最も困難な點は輸送容量の狹少さである、このため山は全般的に操短を實質的に採つてをり、なほ彪大な貯炭の山が累增しつゝあるもの如くであつた

各鑛區別に見て行くと、百萬トン出炭計畫の内上長區長省四十萬トン、黔川四十萬トン鐵岩十萬トン、計九十萬トン、興田區十萬トン、道溪區五萬トンとなつてゐるが、既に山元貯炭は總計で五十萬トン、墨湖港頭貯炭六、七萬トンに上つてゐる樣である、上長區は埋藏量一億七千萬トン、運搬用電車軌道水準上だけで七千萬トンに達し然も炭質は現在鐵岩の水洗設備が完全に動かぬので一次大中塊では灰分一七%小塊十%六千三百カロリーであるが水洗が十分きけば灰分十五%位になり得るし、炭層は地盤が柔かつたためか地殼の變動に際しても採まれることなく整然としてゐる集約採炭が可能である、下部である興田、道溪及び上長區中でも

鐵岩區は 斷層多くポケツト狀をなし一次塊は少い

走向は東西、北に向つて長さ五キロ、厚さは長省四・五米、黔川七米、傾斜四五度から五〇度鐵岩は厚さ七・五米、傾斜九〇度に及ぶ　一次と二次との割合は大體一次が六五%見當らしい採炭狀況は黔川が日三二〇トン平常能力日一千トンをかくも押してゐるのである、長省日一千一百トンこれが年八十萬トン出せればコストは三〇%切下げ得ると云ふ、貯炭は黔川のみで三十四萬トンに達しており長省の抗口も貯炭で溢れてゐる、採炭夫も操短のため主として坑道堀進に向けてゐる、在籍勞働者一人一日當出炭量はこのため十四年は〇、六二トンであつたのが現在では〇、四二トンに低下してゐるとのことである、採炭は運搬軌道以上で抑制してゐる

その設備の尨大さは驚くばかりであつて黔川長省間三キロには水平電車軌道が複線で走り、さらに鐵岩まで約三キロは隧道で拔いて電車軌道を複線で走らせ、鐵岩區と水洗機に達せしめてゐる、説明によればこれまでやるのなら思ひ切つて鐵道ゲーヂで貨車を直接乘り入れた方がよかつたといふ、小規模小資本では不可能視して大量生產、大資本に明かせる計畫であるが、鮮内には見ることの出來ぬ巨大設備である樣式も鮮内で最も

機械化を 誇る新朝無系がベルトコンベア組織であるに對しここは殆ど軌道組織を採つてゐる、前者の間斷ない上場式に對し山らしいといふか、大掛りといふか外車運搬の運搬業の若き感じがする、大ていの場合はどん〱惜みなく隧道を拔いて電車を走らせてゐる、炭鑛、鐵道北三化學工業所を含めて固定資本の額五千萬円と稱されるが、現在の貯炭き出炭では採炭コストの値上りに加へてこの資本の壓迫は激しいであらう、鐵岩の水洗設備も未だ操作が十分でなく能力も少いのでさらに一台を增設、年能力六十萬トンに擴張するべく準備中であつた

各區から電車で運ばれた炭はここで卅トン貨車に積替へられ專用鐵道約十キロにて太白の分水嶺上の桶里に運ばれる、ここから一基三百馬力のケーブル二基年間能力六十萬トンで高差三百米、距離二キロ八の羅漢亭まで卸れるが、九月には六百馬力一基年能力百四十萬トンを增設する、近く

鐵岩まで 墨湖から貨車をそのまま積卸替なしに入れるため、羅漢亭深浦里をスイツチバツクで專用鐵道を六キロ延長、深浦里桶里は貨車の捲卸をやることとし、鐵道は成り捲卸しの工事中でこれも試運轉を終つたとのことである

内地の何處かでみるやうな美しい公園風の長省とは違つてこの海拔一千米の分水嶺から遙か日本海の彼方まで續く山脈の峽をぬふこれらの工事は壯觀といふ外はなかつた、建設當初において測量に當つた人の苦心などでこでも踏はねばならぬものではあらうが頭が下る思ひがするのである、所謂區道溪までは羅漢亭から三キロの專用鐵道、それから三陟鐵道の營業で四十二キロ墨湖港に達する、未だ羅漢亭から上の輸送力はとも角年間六十萬トン程度しかない、六十萬トンが上長區のフルにおける出炭能力なのである、所謂區興田坑（十萬トン）道溪坑（五萬トン）は採炭が上長區に集中されてゐるため抑制し道溪は日產百トン興田もこれを少し出る程度貯炭は興田三千トン、道溪は二萬あつたが出して七千トンになつてゐるとのことであつた、興田は道溪驛まで一時間六十トン年卅萬トン能力のケーブルで運炭するのであるが、これも設備能力が出炭より上にある、興田では選炭を手選でやつてゐた、ここは上長區と異り斷層多く一次塊の含有率は今は八%位しかなく現在は特に一次塊のみを特に出すこととなくぶつ込みで出してゐた、塊の歩留は三〇%と云ふ、灰分は多く二〇%から二五%に達してゐる、こゝの

生產抑制 は性質から云つて餘程抑へてゐるらしい、墨湖港の高架棧橋下には貯炭五トン、港頭貯炭能力の限度に達してゐる如くみえる道溪における山元貯炭費は卸五錢積五錢であつたが各坑ともその程度であらうさらに流失等の損失が加はるから當事者の苦痛の程は察しられる、採算の上からみれば大量增產に基づいた計畫であるだけに固定資本の能率が大きい、ところへ減產と來てゐるからこの壓迫は極めて大きいさらに採炭能率の惡化によつて可變コストも高まつており現下の各山が共通とする坑木等賃の値上りと併せて三陟炭のコストは鮮内無煙炭鑛中最高であると云はれてゐる、然も開發

着手は事變以後で諸物價の著しい引上げ傾向の中においてなされてゐる最も新しい山である、事變前トン當企業費十二円がその後十五円となり、十三年十八円、十四年二〇円十五年三〇円といふのが一般の水準とされるから三陟の如く十四年以降において集中投資をなして上長區の開發に着手してゐるのであるから當然苦しい、これを拔き出る唯一の方法でありまたねらつた

集約採炭 が制約されては致命傷を受けた樣なものであらう

勞働者移動率年百人當卅四人、勞賃は年廿錢增の割合である

さらに貯炭は輸送の關係で封鎖されるに至り主として内地移出を目的としてゐた三陟としては萠芽にいつてただ貯炭のために掘つてゐる狀況となつた、鮮内販賣も鐵道なく隣々規條件を犯して小野田協同油脂、鐵道、北三工場の自家消費の中に安定した消費者を求めるのみであるまた墨湖FOB迄のトン當輸送費は五十萬トン計畫の鐵岩渡として專用鐵道一円（内上部八〇錢、下部二〇錢）索道八〇錢、三陟鐵道一円八十二錢五厘、墨湖港積込費一円五十錢と五円十二錢五厘に計算される、坑口原價計算は八円前後か、坑木費トン二円、在籍勞働者一日一人出炭量は〇・四トン、一人平均勞賃二円といふから七円見當になり幾分含みを入れるからである、選炭費その他を入れた山元コストはトン十七八円だと說明してゐるから墨湖F・O・Bは廿五、六円に達してゐるであらう、目下の原價は上長より所謂區の方が大分有利になつてゐると感はれる、未だ水洗設備、港灣を含めた輸送施設に擴充と整備の建設過程において貯炭に惱まれたのでは

資金關係 において最も苦境に立たされてゐることであらう、三陟は炭價の引上げより補償金の增額を欲してゐる、この見方は正しいのであるいくら炭價を引上げても輸送上難になるだけで潤ふことは少いからである、現金の補償金を欲するのは當然である、總督府の方針も引上げと補償金增額を貯炭補償の意味からなす事となつた樣である、この方針に對する批判は今ここで觸れる時でないと思ふ、日窒が内地火力發電所用の自家消費を構想とし出發した三陟は日本發送電の設立と自由取引が統制取引へと移行するに至つたことによつて山から需要までの一貫性を失ひ瓦解した、内地販賣が絶たれるとするならば混亂と困迷に陷らざるを得ないであらう山元消費とみるべき北三工場また電力不足による生產制限と輸出難、協同油脂はやうやく昨今無煙炭消費轉換をなしつつあり、小野田の操業近く孤島三陟の苦惱は出の最惡の條件の下にあつた、あらゆる產業の綜合計畫からいつて山元

發電計畫 こそ問題の殘された大きい課題だと私は明確に斷言出來る、三陟の當事者は色々な答へで餘り觸れを表してくれなかつたが、總督府も會社もともにこの方向を考究しなければなるまい

三陟地區工場の展望

北三化學

三陟開發の綜合經營の一環としてカバイト、肥料、電極から將來は人造石油まで一大綜合化學工場化する意圖の下に作られた北三面松亭里北三化學工業所は、綜合經營の三位一體の一つ發電を失つて電力側から不安定化してゐるいづれを是とし非とするかは速斷し難いにしろでも本工場が肥料工場を遊休させカバイト工場の增產轉換全面の殺到狀を阻止する最大の原因は電力にあることだけは事實である、他工場の設備をねらつたのであらうが、所有地約五十萬坪の内現工場は三萬坪、目下はカバイト

電極の製造 を主とし、副業的にカボランダムの製造をやつてゐる

カーバイトは〇十K・V・A、〇十〇百キロの〇十トン電氣爐二基で、年容量〇萬〇千トンで實能力二萬トン、實際生產一萬トンであると云ふ、カバイト一トン當四・一〇〇キロ時を要するが、電力不足でフルに動かぬのである、カバイト十トンに要する原料は生石灰十トン石炭七トン五、電力四萬一千キロ時、生石灰十トンは石灰石廿トンと石炭二トンを要するから前後して石炭は九トン五となる電力費一キロ一錢一厘前後、北三としては高く量的に不安があり、朝鮮電力側にしては不定時にしても採算とれない値段であり自然が電力不足狀況にあるから重苦しい負擔であらう要するにこの點からだけいへば半島產業政策に綜合的な強い統一性が無かつた缺點だけは確實である北三の工場渡コストは二號品でトン百廿七、八円、包裝費は一罐七五錢四十五罐、に運賃併せて約四十五円總經費十円程度で

公定價格は 百八十円と貨車乘り一本で建てられてゐるから元山揚までの輸送費卅円か完全な損失勘定となる、近く特別の考慮があるから採算はトン〱にならうとのことである、大量增產による原價切下げは電力の量的制約があるから不可能である、ここの製品は能率からいつて日窒より上にあるとのことで採算と歩一生產の方が能率が好いので、二號品の平均生產を目標として操作されてゐた、石灰石は三陟鐵道扇次里の原石採掘場から來るが工場渡しでトン三円廿錢、純度九七%以上を要するから原石の半分程度しか使へないこと輸送費がかさむのである、選炭用及び焙燒炭は勿論自家消費、製品は墨湖迄十キロ三陟鐵道で搬出してゐる

電極は同系の朝鮮黑鉛から來るものを使ひ五〇〇キロの電氣爐四基、容量最大日二百トン實際生產高六十トン、主として自家カバイト用を目的とし一部市販してゐる、合格率は八〇%である、カボランダムは月十トン

この採算は 好いらしい北三工場は要するに完全操業には大分距離があるとみるほかない

同鐵線の未開通はここでも大きい阻害となつてゐた、然し根本的には電力問題が一切であるといへよう、これが解決されなくしては、いかなる發展も起り得たとみるべきである、ここにも三陟の自家發電が課題として浮んでゐると斷じられる

小野田洋灰

昭和十二年四月工場敷地六萬坪、附屬地入れて八萬坪の地均工事に着手した朝鮮小野田セメント三陟工場は、爾來五ケ年以上を經過してこの六月末、やつと火入をやるべく盛んにキルンを上窯未成の機でリペツト打ちをやつてゐるときであつた、一期十八萬トン（實能力十五萬トン）の完成近く操業されるのであるが二期十八萬トンも接近して着工される見込みとのことであつた工場のみの總額は四百萬円が衛戰百萬円を入れて八百萬円に達し、トン當四十五円に上つてゐる

昭和十二年工場敷地を決定して十年頃から實施計畫を進めてゐたのであるが、建設當時に比し約七〇パーセントの値上りとなつた、輸送も鐵道を計算したが結果は汀羅港を通ずるほかなくなつた、殆どが沖取りで岸壁荷役には餘り期待出來ぬらしい原料關係は石炭年四萬トン、三陟を六〇%から六五%後は内地炭の豫定である、工場では百%三陟使用を希望してゐるが、六千三百カロリーを平均保持することを要すること、火付用の二つで幾分は安全にとつて内地炭を使ふのださうである、紙袋は内地、原石は直ぐ裏山が採石場でこゝからベルトにより工場内に搬入されてゐる、このベルト費を入れてトン一円五十錢、平均品位九三、四%で北鮮より劣るがセメント用の限度九二%以上であるので採算的にも安定してゐる樣である、所有鑛區卅萬坪七千萬トンの埋藏量で延長は無盡と云ふ、目下山に八千トン貯石し、月產千五百トンの能力で採石されてゐる、こゝは事變當初資金調整令によりセメント業が丙種と指定されたこと等の事情で困難な建設過程を踏んだためにもおくれたのである、豫定電氣料金一錢二厘が今では二錢一、二厘となつて來たため自家發電によらずドイツのレムケボリヂユース會社特許權を年額十萬八千円でもつて使用する餘熱利用の方式を採つてゐる、これは本邦最初の樣式であると云はれる

これによるトン當電力使用高は百八十キロ時約三円六、七十錢見當自己發電した場合の石炭消費はトン當四百五十キロ、このレポールキルンによれば二百卅キロその差二百廿キロ炭價卅円とすればこの方が六円六十錢、廿円とすれば四円四十錢だけ石炭費で安くなり、電力費と三部で炭價卅円のときは約三円、廿円では約八十錢安となる、炭價がトン十六円四十錢以下となれば自家發電を有利とする（特許料、設備費等の差は除外して消へた可變費關係のみの數字比較である）電力費と炭價の關係は一般的にみて大いに研究する價値があらう樣な問題は輸送關係である

協同油脂

協同油脂は昭和十二年六月油肥・鑛業の參加組合がカルテルから發展して自ら油脂加工々業を經營鮮内漁業及び鰯油肥製造業の安定を期して創立されたもので總資本二千萬円、清津漁港に產地生產魚油の貯藏設備を持つほか十三年一月着工十四年五月竣工した三陟工場が主體をなしてゐる

敷地社宅等を入れて約七萬坪、日本一の硬化油製造能力を持つ製品は大別して約五十種、目下十五年、九月着工の電解ソーダ工場五百萬円及び二百萬円の油脂加工々場が建設途上にある、三期計畫としてヤシ油消費が研究されつつあつた、現在は原料手當難で相當大巾の操短を實施しつゝあると推定される、化學工學として將來の發展をいかに策するかは眞劍な問題であらう硬化油製造用の水素は三陟の塊をコークス代用に使用して水成ガス法によるのと水の電氣分解によるのとの二法を併用してゐる、電力料金一キロ一錢二厘五毛、目下無煙炭使用へ轉換すべく月石炭消費高七千トンのボイラ建設中で八〇%無煙炭使用を計畫してゐる、更に同種ボイラを增設し餘力で發電すればキロ時八厘の計算であるといはれる

產業政策統一と綜合開發の強行　發電、〃孤島〃離脱への道

三陟地區の產業概相をその主軸とする三陟炭を中心として、壯絶な表現で展開を終つたのであるが、再び出發點に立つて綜合的にこれを眺むる時〃孤島三陟〃の打破には勿論、外部との交通線問題すなはち海上輸送力の增大、東海線開通の促進が最も具體的な緊急性を持つてゐるであらう、然し振りあるより基本的な問題はそれのみに止るであらうか、このかつては綜合開發か、國土計畫的構想の下に採されてゐた三陟地區の徹底的綜合な發行が阻止されてゐるのは戰時性のみに歸せられて、そこには不合理が無かつたであらうか、廣大な自己杭木山林まで用意して、永久的に杭木の自足すら期してゐた一大綜合計畫である、我々は深く痛く問題の眞實を檢討しなければならない

電力は電力、石炭は石炭、交通は交通と行政の分離から綜合性を企圖されてはゐたのであらうが、確にその統一力の強さにおいて缺けるものがあつたことは事實が示してゐる、〃あれは山の素人だからあれ程やつたのだよ〃との批判がある位に豪壯を極めた、彪大な施設、これまでよくぞやり遂げたものだの觀が深い、綜合企業建設の法則である生產地消費の點が十分でなかつたことは大きな弱點となつた過剰な石炭、不足する電力の關係だけで發電の必要性を說明し得る程に問題は單純ではあるまいが、また見逃すことの出來ない課題の一つである

朝鮮電力の内部分裂以後の諸結果は何をもたらせただらう、因果は相互的なものを餘りに遊びないが不透明なものを餘りに殘しすぎた、戰時的みきざる巨手の支配下に立つ三陟はいかなる方向に行くだらうか、三陟開發と新朝無との間に締結されてゐる委託契約は今後どういふ形で處理されるものであらうか

半島產業政策の移り行く姿がこれらの中に縮圖的な展開をみせてゐるやうに思はれる

三陟に發生してゐるところの諸現象はそれ〱部門別に產業政策の最後的な解答を迫つてゐる如くみへる、石炭は、電力は、交通はいかなる形でいかなる内容をもつてこれに答へるのであらうか、記者は半島產業の斷層の烈しいことに驚き、一方ではつく〲とその若さに感ひを致すのである、そして共通の運命と條件の下に封鎖された孤島に生活する各種の企業は、相互に依存し相關關係の度合を深めて行くべきである、協調によつて相補ひ合ひ、それから生れた力で共通の困難な障害を克服し乘り越える樣に努めなければならないと思ふ

最後にその形態がいか樣であらうともそこに敢鬪しつゝある人々の眞摯さが實を結び華やかな綜合開發が完成される日を感銘して期待する

法則はそれ自らを貫くとだらう

墨湖港概況

三陟地方唯一の吐呑港墨湖港は昭和十二年から四ケ年繼續事業をもつて總督府の豫算百五十萬円による防波防砂堤築造工事を三陟が請負ひ、これと並行した築港工事をなし石炭搬出專用港の諸施設をなした、今もなほ改修、擴張工事を續行中で、すでに投下資本大百萬円に及んでゐる積ランの指進は〇〇トンであるが、〇千トンは樂であらう、石炭のみの搬出容量は鎭南浦より上位にある、附帶用と機帆船小型船、舟荷役用の二本の高架棧橋が出てゐる、今のところ炭車をチプラーで返して積んでゐるが、工事中のベルトコンベアーが完成すれば全部機械力で積めることになる、能力もさらに增大される計算であつた、港頭は棧橋下のみで五萬トン、海上からみればたゞ墨湖港は黑一色の壯觀である、全鮮港灣中にあつても本港の存在は優秀なものであり、その機械化施設は最上位にあつて貧弱な鮮内諸港の施設ぶりに對し大きい推進的示唆を投げかけてゐるとみる

高商制覇

大學專門 國防訓練騎道大會

大學專門學校體育振興會綜合體育大會の先陣を承つて國防訓練騎道大會は、十四日午前八時半から京城新堂町乘馬俱樂部馬場に開催、半島學徒體育の戰時體制なつて初めの訓練大會に相應しい裝鞍、傳令競爭、甲乙障碍など新しい構想を練つた實戰部隊の種目が、未だかつてない多數參加の若人によつて集團鍛成されたが、各種目に平衡した實力を顯して、高商が總點得三十六の最高點で制覇、甲種障碍に獸醫科、乙種障碍に醫專がそれぞれ優勝、晴れの大會へ眞崎學務局長、本多學務課長は終始會場につき切つて騎道に鍛へる若人たちを激勵した

【寫眞＝裝鞍對抗競爭】

騎道総成績表

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	10	12
校名	高商	獸醫科	醫專	法專	京醫	齒專	高工	大學	高農	藥專	旭醫	鑛專
裝鞍	20	7	7	0	3	0	3	0	0	0	0	0
傳令	10	7	17	20	10	3	7	0	0	3	3	0
障碍(乙)	0	9	0	3	0	12	1	0	6	0	0	0
障碍(甲)	6	12	0	0	3	0	0	9	1	0	0	0
総得點	36	35	24	23	16	15	11	9	7	3	3	0

偲ぶ先人の聖業

戰歿野球選手慰靈祭

京城體育振興會野球部では十四日午後一時から總蒐したゝる京城球場で過ぐる日この球場で實業野球人として活躍し、今次の支那事變並に大東亞戰の礎石となつた故陸軍大尉石井利一君外十一柱の戰歿選手慰靈祭を京城神社から松尾主典を迎へ振興會野球部長代理廳生遞信局總務課長祭主となり遺族を招きいと嚴かに執り行つた

この日中央スタンド前に設けた祭壇には故人の寫眞をかかげ數數の心盡しの供物が献ぜられた祭壇両側には聯盟各野球部から花輪が供へられ正面には現役選手がユニホーム姿で參列、また一般觀衆は球場芝生に整列して野球人が先人の聖業をしのぶに相應しい慰靈祭であつた、引續き

◇…慰靈祭

二時から競技を開始した

▲野球ボール遠投

◇チーム對抗

一位　遞信軍269米40重村95米5、高野88米5、馬明85米4

二位　鐵道軍264米50森川96米90、西78米5中村89米1

◇個人

1、森川（鐵道）96米90
2、重村（遞信）95米50
3、富田（府廳）92米60

◇手榴彈投

◇チーム對抗

一位　殖産軍56點松本15、中島22、島原19

二位　京電軍47點木原19、中川8、谷話20

◇個人

1、中島（殖産）22
2、谷話（京電）20

▲走壘リレー

◇チーム對抗

一位　遞信軍47秒4江里口16秒西16秒重村15秒4

二位　鐵道軍47秒7西脇16秒1、森川15秒4赤井16秒2

◇個人

1重村（遞信）15秒4
2森川（鐵道）15秒4

現役軍勝つ

先鋒、監督審判軍對現役選手の紅白試合は審判軍野球部長（代理）始球式ののち午後三時二十八分から球審中村、壘審土井、山腰三氏審判の下に先鋒軍先攻で開始六對三で現役軍決勝

先鋒　000030000　3
現役　05001000A　6A

投捕手（先鋒）高原、岡部—小笠原（現役）八島、高野—早川山口

中央基督教青年會柔道試合

高田、青山兩君の壯行會を兼ね

京城府體育振興會拳鬪部では第一回産業人拳鬪競技大會を左の要項で十九、廿日の兩日（毎夜午後七時半）京城鐵路中央基督教青年會體育館で開く

▲參加資格　一般アマチュア（非專業競技者）にして京城府内在住の産業從業員たること（特に工場、會社、銀行に從事する者を歡迎する）

▲競技方法　『フライ級』より『ウエルター級』迄五階級とし各級共勝拔式とす

▲計量　六月十七日午後一時より午後二時迄の間中央青年會館に於て行ふ（但し計量時刻に遲れたる者は棄權と看做す）

▲申込方法（イ）締切六月十六日まで（ロ）場所中央基督青年會體育館氣付京城府體育振興會拳鬪部宛（ハ）參加料不要

産業人拳鬪

十九、廿兩日

登行運動の指導者錬成會

廿日、冠岳山へ

朝鮮體育振興會登行部では第一回指導者錬成會は地方組織登行部役員並びに青壯年層、各事業職層における登行運動の指導者を養成する目的をもつて廿日午後一時半龍山驛前を出發、漢江神社—舍堂里—南泰嶺—果川—戀主臺（一五キロ）の冠岳山に行路を求めて、戰鬪行軍訓練、露營及び團體登行に鍛錬するが、參加申込は十七日まで總督府厚生局保健課内朝鮮體育振興會になつてゐる（募集人員は各道三名、京畿道十名、計五十名に限定し參加會費なし）歸着解散廿一日午後四時漢江橋

柔道館朝鮮支部中央基督教青年會柔道部員高田彰、青山忠平兩君が選ばれて晴れの志願兵訓練所に入所する壯行會を兼ねた中央基督教青年會柔道部春季柔道試合は十三日午後七時半から京城鐵路青年會體育館に意義深く開催、二百餘名の部員が紅白に分れて徵兵制に報へる尚武の意氣を昂揚、同十時半試合は終了、青山高田兩君に贐れの首途を祝ふ記念品を贈り武原幹事の激勵の辭及家副總務の閉會の挨拶があつて盛況裡に閉會した

1金城義勝（八人拔）2金益煥（六人拔）3宋台憲（五人拔）3張鳳柱（五人拔）3金井顯萬（五人拔）4具振泰（四人拔）4李吉島（四人拔）

京城實業野球

けふ閉會式

九日擧行豫定であつた京城實業野球リーグ最後日の府廳對遞信は雨のため延期、十五日午後四時半から京城球場で行ふことになつたがこの試合後ひきつゞいて閉會式を擧行する

東京大學野球

慶一四—立一

慶應	400002000	8
立教	000000001	1—14

投捕手（慶應）別當、清水—坂井（立教）藤本、古島—永利

明一〇—早七

明治	002020132	7—10
早大	004000102	

投捕手（明治）藤本—松井（早大）吉江、由利、吉村—近藤

けふの鍛錬

◇野球　京城實業リーグ最後日、府廳對遞信、閉會式（四時半・京城運動場）

第十九回全鮮庭球大會

日時……六月廿一日（日）午前十時から
會場……京城運動場庭球場

出場組　前年度覇者、江原、京畿、黄海代表、平南北代表、咸南北代表、慶南北代表、全南北代表、忠南北代表、各道推薦組

會員券　普通三十三錢（稅共）學生二十錢

主催　京城日報社
後援　朝鮮體育振興會

愛の赤道【124】

竹田敏彦（作）
都竹伸一（繪）

其夜の幻影（十二）

『それは申すまでもございませんどうか御安心なすつてください。父にとつては、たつた一人の、血を引いた娘でありますし、私共にも從妹ですから、決して無責任なことはいたしません』

二郎が代つて、警部補に答へた。

『いや、あなたのお言葉なら、信頼しませう。實は當人にも、いろいろと意外以上の糾問をしましたがあなたの御厚意は大變感謝してゐるやうです。それだけにかうなつては、誰よりも一番あなたに顔が合せ難い。それをしきりに申してゐたやうですから、これへ連れてまゐりましても、今夜はあまり嚴しくはお叱りにならない方がいゝでせう』

『よく判つてゐます……』

二郎は、警部補の注意に感謝した。警部補も安心して、

『それでは、こんなところへは、一日も長く置かない方がいゝと思ひますので、あなたがたさへ十分に責任を持つてくだされば、本人の身柄は、今夜すぐお渡ししてもいゝですがいかがでせうか』

『有難うございます……』

二郎は答へたが、はたと迷はずにゐられなかつた。千鶴子の身柄を受取つても、さて、今夜から何處に泊めるか？——家へ連れて歸るにしたとはないが、もう二月も前あんな風にして家を出た千鶴子を今頃しかも夜中突然、二人で連れて歸るとすると、誰しも不審に思はない者はなからうし、自然、その忌はしい秘密を両親や晃子にまで明か さずには置けなくなる。

また一方、千鶴子にしても、それを知りながら、のめ〳〵と再びお繼や晃子のゐる家へ、生恥をさらしに歸ることは、それこそ、死んでもいやであらう。と、いつて、むずも阻まれた娘を、監督もなく知らぬ宿屋などへ一人で置くことは、見殺しにするも同じことである——さう なると、二郎にしても、警部補の前に、立派に責任は誓つたものゝ、安心のできる方法は、當面思ひ當らないのである。

しかし、警部補は、

『では、これから、本人を連れてきまして、お引渡ししますから、よろしく願みますよ』

念を押して、デスクを離れるとすぐに室を出ていつた。二郎は、ドアの外に、ちらりと眺められた。

それを見送ると、

『兄さん……』

椅子についたまゝ、ぼんやりしてゐる恭輔の顔を覗いて呼んだ。

『何だ……』

恭輔は、我に返つて二郎の方を向くと、

『いや、ひどい目に、油を絞られたよ』

にやりと照れかくしの笑顔を見せた。二郎は、まだそんな無責任な、虚勢を張つてゐる恭輔を見ると、腹だたしさよりも、情けなさに悲しくなつたが、

『ところで、千鶴子を今夜は、何處へ連れて歸ります？』

訊ねると、恭輔は、

『家へは、絶對に伴れちや歸れないよ。何も彼もばれてしまふぢやないか』

『無論、さうですよ。だから御相談してゐるんです』

二郎も、むつとして、語氣を強めたが、その時、ガタリとドアが開いて、

『さあ、お入り……』

千鶴子を促す警部補の姿が、ド

ラジオ　十五日

朝　五・三〇初夏の小鳥—富士山麓にて（錄音）▲六・三〇東洋思想の精髄（一）宇田尚、愛國詩（吟詠）▲九・〇〇（城）『貯蓄を生み出す工夫と實例』須江愛子

晝　〇・三〇—ハーモニカ合奏『舊友』ほか南部信喜ほか2同獨奏『會議は踊る』ほか、3マンドリン合奏『逞ましき前進』ほか　內木樂團▲一・〇〇朗讀『歌光』（二）夏川靜江▲一・三〇『本當の科學生活』浦本淸三郎▲二・〇〇學校新聞（錄音）太田正孝▲二・三〇（城）朗讀（朝鮮語）『季節風の國』▲四・〇〇陸軍の教育と實戰（二）北村一夫▲五・五五（城）シンブン（鮮語）

夜　六・〇〇シンブン、武勇物語『天兵童子』（二）一龍齋貞鏡▲六・三〇（名）管絃樂『交響曲第十番』『軍隊』名古屋放送管絃樂團▲七・三〇（城）家庭歌謡『野に山に』ほか　玄山濟明▲八・一五（城）歌曲（鮮語）『搖籃』ほか　松本興▲八・三〇（城）初歩國語講座▲九・〇〇三曲『櫻川』『千代の壽』富崎春昇ほか▲一〇・〇〇西貢より